

第11号



ニュース

ニュース

* 加盟団体 *

- ・ NTT西日本広島
- ・ サンフレッチェ広島
- ・ JTサンダーズ
- ・ 湧永製薬
- ・ 広島メイプルレッズ
- ・ 広島ガスバドミントン部
- ・ ソフトテニスクラブ
- ・ 中国電力陸上競技部
- ・ コカ・コーラウエスト
- ・ レッドスパークスホッケー部
- ・ 広島東洋カープ

開幕戦を戦うサンフレッチェ (濃い色)



サンフレ 初戦黒星

サンフレッチェ
0 (0-0、0-1) 1
山東魯能 (中国)



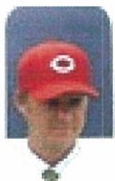
AFCチャンピオンズリーグ(ACL)が開幕した。初出場のサンフレッチェは24日、ビッグアーチで山東魯能(中国)と対戦し0-1で惜敗、黒星スタートとなった。

約1万3千人が詰め掛け今シーズンがスタートしたサンフレッチェ。ACL初出場に加え初めての国際公式戦だったが、シーズン初戦ということもあってか活動量に乏しく、シュートの精度にも欠け、ゴールが割れなかった。そうして迎えた後半32分、右CKからヘディングを合わされて失点、そのまま逃げ切られた。

ベトロピッチ監督は「敗戦は残念。佐藤が日本代表で長期間チームから離れ、高萩、李とのコンビが機能しなかった」と初戦の黒星を悔しがった。

今後の日程は左表の通り。

山東に無得点



ベイラー投手復帰

米大リーグのロイヤルズに在籍していたジョン・ベイラー投手が4年ぶり復帰した。2000年から3年間に在籍、100試合に登板、14勝13敗、30セーブ。防御率4.42の成績だった。

同投手は193打、100キロで左投げ左打ちの35歳。大リーグでの3年間は、中継ぎとして83試合で1勝5敗1セーブの成績を残している。左打者に強いことなどを評価して獲得を決めた。ベイラーの加入で、外国人選手は5人となった。

《ACL今後の日程》=サンフレッチェ関係分

3月10日	浦項(韓国)	19:30	アウェー
24日	アデレード(豪州)	18:00	アウェー
30日	アデレード(豪州)	19:00	ビッグアーチ
4月13日	山東魯能(中国)	20:30	アウェー
27日	浦項(韓国)	19:00	ビッグアーチ

第59回別府大分毎日マラソンは7日、大分市高崎山うみたまご前をスタート、大分市宮陸上競技場をゴールとする新コースで行われた。

中国電力からは尾崎輝人が出場したが、2時間16分24秒で16位だった。

ケニアのジョナサン・キプロリルが2時間10分50秒で初優勝を飾った。

梅木は32位 丸亀国際ハーフマラソン

第64回香川丸亀国際ハーフマラソンは7日、丸亀競技場付設マラソンコースで行われ、梅木蔵雄は1時間3分31秒で32位だった。

国際大会や全国大会で優秀な成績を挙げた選手、団体に贈られる表彰が3日行われ、陸上の佐藤敦之(中国電力)ソフトテニスの堀成生・高川経生(NTT西日本広島)ハンドボールの湧永製薬などが受賞した。

中国電力 陸上競技部

尾崎16位 別大マラソン

中国山口駅伝

V3ならず 3位に沈む

《中国山口駅伝 個人記録》

区間	距離	選手名	記録	区間順位
1	15.1	梅木 蔵雄	4分45秒	2位
2	11.3	黒田 将由	3分40秒	3位
3	11.9	伊達 秀晃	3分37秒	2位
4	10.4	尾方 剛	3分24秒	4位
5	8.7	沖野 剛久	2分25秒	3位
6	15.9	田中 宏樹	4分16秒	3位
7	11.1	森政 辰巳	3分01秒	2位
			84.4	3位
			4時間14分08秒	

第73回中国山口駅伝は1月31日、宇部市役所前をスタート、周南市役所前をゴールとする7区間、84.4キロで行われ、3連覇を狙った中国電力は4時間14分08秒で3位に沈んだ。

2区黒田、5区沖野、7区森政は引退レースを飾らず、ユニホームを脱いだ。

湧永、POへ前進



日本リーグ

メイプル4位確定

3シーズン連続プレーオフ進出を逃がした女子の広島メイプルレッズは、どうしても3強の一角が崩せず、1試合を残して5勝9敗、三重バイオレットアイリスを抑えて4位が確定した。2年目の呉龍基監督は「選手に自信がない。来シーズンに向けて基本を徹底し、メンタル面の強化にも力を入れたい」と寂しい表情で振り返った。なお、北国銀行戦で土屋がリーグ通算200得点を達成した。(勝敗表は22日現在)

合成も撃破し新春3連勝 大崎抜き4位に浮上

日本リーグは大詰めを迎え、男子は4強で争うプレーオフ進出を巡り激しい順位争いが展開されている。

湧永製薬は新春再開後、大崎電気、トヨタ紡織九州に続き豊田合成も撃破して3連勝、大崎電気を抜いて「当確」の4位に浮上した。

豊田合成戦はアジア選手権(レバノン)日本代

表のGK松村、CP東長濱を欠きながら好調さを維持。GK志水の好セーブを着実に速攻につなぎ、序盤から合成を圧倒。後半も勢いは止まらず、余裕ある戦いで11点差の快勝。8勝目を挙げ、プレーオフ進出へ大きく前進した。

なお、男子は1試合を残している6チームが3月5～7日に最終戦を戦う。



《日本リーグ勝敗表》

男子	勝	分	敗	勝点
①大同特殊鋼	11	1	1	23
②トヨタ車体	9	1	3	19
③トヨタ紡織	8	2	4	18
④湧永製薬	8	1	4	17
⑤大崎電気	8	1	4	17
⑥豊田合成	2	2	9	6
⑦琉球コラソン	2	1	10	5
⑧北陸電力	0	1	13	1
女子	勝	分	敗	勝点
①北国銀行	11	1	2	23
②オムロン	11	1	2	23
③ソニー	10	0	4	20
④メイプル	5	0	9	10
⑤三重	4	0	10	8
⑥HC名古屋	0	0	14	0



ゴメス復帰も後がない

Vプレミアリーグは第3レグを終え、4強で争う決勝ラウンド進出へ激しい星争いを展開している。4年ぶり4強を狙うJTはケガで離脱していたゴメスが1月30日のサントリー戦で1カ月ぶり復帰、勢いを取り戻し4連勝。8勝8敗の五分の星に戻した。しかし、続く大分三好、東レにまさかの連敗。再び借金生活に戻り、パナソニックにも黒星で4強入りへあとがない状況に。ゴメスを柱に多彩な攻撃パターンと持ち味のブロックを織り交ぜた戦いで踏ん張りを期待したい。

《プレミアリーグ男子勝敗表》

21日現在	勝	敗	勝率	セット率	得点率
①パナソニック	16	4	0.800	1.926	1.094
②東レ	15	5	0.750	1.852	1.066
③東レ	13	7	0.650	1.667	1.109
④サントリー	11	9	0.550	1.135	1.036
⑤豊田合成	10	10	0.500	1.000	0.993
⑥JT	9	11	0.450	0.805	0.963
⑦大分三好	3	17	0.150	0.407	0.868
⑧FC東京	3	17	0.150	0.389	0.891

主将の徳元がVリーグ栄誉賞を受賞する。1月30日のサントリー戦で通算試合出場が230試合(10シーズン以上)に達した。JTでは平野に次ぎ2人目。99年2月の旭化成戦でデビューした。

徳元 Vリーグ栄誉賞



男女とも予選敗退



予選リーグで男子の中堀・高川、女子の佐々木・大庭、塚田・山本各ペアはいずれも1勝1敗の成績で各組2位となり、1位が出場する決勝トーナメントに進めなかった。中でも大会史上最多の9度目の優勝を目指した中堀・高川だったが、2戦目の大学生ペアを相手に逆転負けを喫し、記録更新は持ち越したとなった。

全日本インドア

ソフトテニスの全日本インドア選手権は7日、大阪市中央体育館で開かれ、NT西日本広島は男女とも予選リーグで姿を消した。

Aは5位、Bは16位に終わる 全日本女子団体選抜大会

全日本女子団体選抜大会は20、21日、三重県四日市ドームで開かれ、熊鳥・前道、佐々木・大庭、塚田・山本で臨んだAチームは5位、三好・水間、榎本・伊東のBチームは16位となった。

新主将に小野 副は山口

新主将に北京五輪代表の小野真由美、副将に山口千恵美が就いた。前主将の山本志野はプレイングコーチになる。また、選手会の会長には北京五輪代表GK吉川由華、副会長には善行柄莉菜が務める。



ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。